

いしきの まき

No. 26 12月定例会 議会だより

平成23年2月14日発行

平成22年度

一般会計補正予算、条例等139件可決…	2
各常任委員会審査報告…	4
21人が一般質問で市政を問う…	6
常任委員会行政視察レポート…	13
重要課題の早期解決に向けて～中央要望～…	15

「議会ってどんなところ？」
議場見学に訪れた向陽小学校6年生の皆さん



条例や補正予算など139件原案可決 T P P交渉参加阻止に関する意見書を提出



▲ 議案審査の様子

平成22年第4回定例会は、12月3日から12月20日までの18日間の日程で開催されました。

今期定例会では、条例や補正予算などの市長提出議案138件、委員会提出議案1件の計139件の議案が審議され、いずれも原案のとおり可決されました。

また、人事案件については同意されました。

(議案の詳細は5ページに記載)

提出された議案は、それぞれ所管の常任委員会に付託審査され、最終日12月20日の本会議において各委員長が審査内容と結果を報告し、すべて原案のとおり可決されました。

なお、委員会発議として提出された、T P P交渉参加阻止に関する意見書については、全会一致で可決されました。

(意見書の内容については12ページに掲載)

提出された請願

第4回定例会において提出、審査された請願は次のとおりです。

「T P P交渉参加阻止に関する意見書」の提出を求める請願

【請願者】

石巻市中里五丁目1番12号
いしのまき農業協同組合

代表理事組合長 齋藤 賢仁

【請願趣旨】

日本の「食」と「農」、そして「地域経済」を守るため農業を犠牲にするT P P交渉参加に断固反対することについて、関係関係僚宛に意見書を提出してほしい。

※この請願は、産業建設委員会の審査および本会議採決で採択され、関係機関へ意見書を提出することに決まりました。



▲ 産業建設委員会での請願審査の様子

提出された陳情

第4回定例会に提出された陳情は次の3件です。

■ 現行保育制度を堅持し、拡充することについて

国に対して、現行保育制度を堅持し拡充するよう意見書の提出を求める。

(提出者)

宮城県保育関係団体連絡会

〈議員全員へ参考回付〉

■ 中小企業予算の拡充を図り、最低賃金の時間額千円の早期実現について

国に対して、中小企業予算の拡充を図り、最低賃金の時間額千円の早期実現に対する意見書の提出を求める。

(提出者)

2011年宮城県春闘共闘会議

〈議員全員へ参考回付〉

■ 義務教育費国庫負担制度の維持と教育予算の拡充について

国に対して、義務教育費国庫負担制度の堅持と教育予算の拡充を求める意見書の提出を求める。

(提出者)

宮城県教職員組合石巻支部

〈議員全員へ参考回付〉

第4回定例会で議決した議案の中から

可決された条例の中から

◆石巻市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

子ども医療費の助成について、助成対象を、小学校2年生から小学校4年生（10歳に達する日の属する年度末日）まで拡大し、子育てに伴う経済的負担を軽減することとしたもの。〈平成23年4月1日から施行〉

その他の議案の中から

◆石巻市過疎地域自立促進計画について

過疎地域自立促進特別措置法により、市内全域が平成17年4月1日から平成22年3月31日まで過疎地域とみなされていたが、法改正により河北地域、雄勝地域、北上地域及び牡鹿地域の4地域のみが過疎地域とされ、期限が平成28年3月31日まで延期されたことから、過疎地域の生活環境の整備等を総合的かつ計画的に進めるため、新たな過疎計画策定をする必要が生じたので議会の議決を得たもの。

◆財産の取得について

齋藤氏庭園を国指定の名勝として適切な管理を行い、国民共有の財産として、永続的に保存することを目的に石巻市が公有化することとし、土地、建物、樹木等の売買について、所有者と協議が整ったことから、議会の議決を得たもの。

◆人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて

人権擁護委員（委員24名）のうち、新田義雅氏が平成23年3月31日をもって任期満了となることに伴い、人権擁護委員法第6条第3項の規定に基づき、人格、識見が高く、広く社会の実情に通じ、人権擁護について理解のある新田義雅氏を引き続き委員候補者として法務大臣へ推薦するため議会の同意を得たもの。

可決された補正予算のおもな中身は

◆総務費では

- ・住民情報システム改修業務委託料（平成21住民基本台帳法改正による外国人対象に係る分）

◆民生費では

- ・子ども医療費助成拡大に伴う申請書送付等準備費用
- ・介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金
（認知症高齢者グループホーム1施設、小規模多機能型居宅介護事業所1施設）
- ・保育所冷房設備設置に要する経費
（30公立保育所のうち21保育所の午睡室として利用しているホール及び乳児室）

◆衛生費では

- ・網小医院運営費補助金
- ・太陽光発電普及促進事業費補助金追加分（48件分）
- ・子宮頸がん予防ワクチン接種委託料（対象者：当該年度において13歳、15歳及び16歳に達する女性）
- ・ヒブワクチン接種委託料
（対象者：生後2ヶ月から11ヶ月の者並びに当該年度において2歳及び4歳に達する者）
- ・小児用肺炎球菌ワクチン接種委託料
（対象者：生後2ヶ月から11ヶ月の者並びに当該年度において2歳及び4歳に達する者）

◆労働費では

- ・固定資産税基礎資料整備事業事務補助員に要する経費
- ・所得税・市県民税等申告事業事務補助員に要する経費

◆商工費では

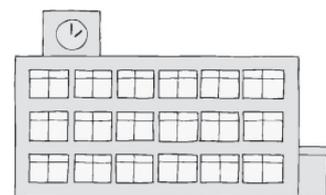
- ・映画「エクレール・お菓子放浪記」製作委員会支援助成金

◆土木費では

- ・総合運動公園建設推進費（用地購入費、実施設計業務委託料）

◆教育費では

- ・小中学校の耐震補強設計業務等委託料
（校舎：小学校6校、中学校4校 屋内運動場：小学校12校、中学校3校）
- ・学校給食センター運営費（燃料費高騰に伴う不足経費）



12月7日の本会議で、条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。
各常任委員会で審査されたことの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

各常任委員会の条例・補正予算審査

総務企画委員会

過疎地域自立促進計画について

Q 天然スレートなどの、雄勝石産業における生産等の状況は。

A 雄勝地域における天然スレートは、需要に対する供給体制が追いついていない。後継者の問題もあり、現在の砕石業者は、1社となっている。

後継者育成に対する今後の行政支援等について、視組合側と協議を行うこととしている。



▲ 雄勝石ギャラリー

環境教育委員会

総合体育館の指定管理について

Q 総合体育館の指定管理について伺う。

A 総合体育館の指定管理者となるNPO法人石巻市体育協会は現在約2万人の会員を有し、これまでも市と協働で様々なスポーツイベントを開催している実績があることから非公募により指定する。

また、施設の管理のみならずソフト事業も合わせて事業展開していくこととしており、今後も市のスポーツ振興事業を協働で実施していくために、指定の期間を5年とする。

保健福祉委員会

子ども医療費の助成について

Q 子ども医療費の助成拡大に関する今後の見通しは。

A 実施計画を作成する段階では、平成24年度に小学校6年生まで拡大する方向で検討しているが、今回は小学校4年生までの拡大を提案している。1学年について4千万円から4千5百万円程度の一般財源が必要であることから、小学校6年生まで拡大するかどうかは、平成22年度の給付費の状況や、対象の子どもたちの人数の増減、市の財政状況などを見ながら検討していきたい。



産業建設委員会

本市で撮影される映画に対する助成金について

Q 助成金の積算根拠や投資効果並びに映画の活用は。

A 撮影は、本市を始め、富谷町や村田町等で行われ、それぞれの助成金額は50万円〜3百万円までと異なっている。

本市の助成金額は、映画の広告宣伝媒体の作成に要するそれぞれ個別の経費の1割程度を基準に算出した。この助成金は、映画製作経費を補填する補助ではなく、映画により本市が全国にPRされ、観光客の誘致につなげていくことを目的とした助成である。

完成した映画は、観光素材や教育素材として活用したいと考えており、映画製作会社等と調整したい。



▲ 映画「エクレール・お菓子放浪記」撮影風景 (日和山公園)

第4回定例会に提出された議案と審議結果

予算関係 (原案可決)

平成22年度石巻市一般会計補正予算(第5号、第6号、第7号)
 平成22年度石巻市土地取得特別会計補正予算(第2号)
 平成22年度石巻市診療所事業特別会計補正予算(第2号)
 平成22年度石巻市下水道事業特別会計補正予算(第4号)
 平成22年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
 平成22年度石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
 平成22年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
 平成22年度石巻市病院事業会計補正予算(第2号)

条例関係 (原案可決)

石巻市公民館条例の一部を改正する条例
 石巻市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
 石巻市老人憩の家条例の一部を改正する条例
 石巻市下水道条例の一部を改正する条例
 石巻市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例
 石巻市浄化槽事業条例の一部を改正する条例
 (仮称)石巻市民文化ホール建設基金条例

その他 (原案可決)

石巻市過疎地域自立促進計画について
 指定管理者の指定について
 (石巻市NPO支援オフィスほか114件)
 財産の取得について
 工事請負の契約締結について
 (石巻工業港曾波神線擁壁(第一工区)新設その2工事)
 (石巻工業港曾波神線擁壁(第二工区)新設その2工事)
 石巻地区広域行政事務組合の共同処理する事務変更、規約の変更及び財産処分について
 人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて

委員会提出議案 (原案可決)

TPP交渉参加阻止に関する意見書

第4回臨時会に提出された議案と審議結果

予算関係 (原案可決)

専決処分の報告並びにその承認を定めることについて
 (平成22年度一般会計補正予算(専決第2号))

委員会提出議案 (原案可決)

石巻港における継続事業の推進と石巻港の仙台塩釜港との一体化に関する意見書



第5回臨時会に提出された議案と審議結果

予算関係 (原案可決)

平成22年度石巻市一般会計補正予算(第4号)
 平成22年度石巻市診療所事業特別会計補正予算(第1号)
 平成22年度石巻市おしかホエールランド事業特別会計補正予算(第1号)
 平成22年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第2号)
 平成22年度石巻市下水道事業特別会計補正予算(第3号)
 平成22年度石巻市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
 平成22年度石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
 平成22年度石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第2号)
 平成22年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
 平成22年度石巻市病院事業会計補正予算(第1号)

条例関係 (原案可決)

石巻市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例及び石巻市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
 石巻市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

その他 (原案可決)

工事請負契約の一部変更について
 (西流下蛇田排水ポンプ場基礎工事)

議会提出議案 (原案可決)

石巻市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

第4回
定例
傍聴
人数
165人

議会を傍聴してみませんか?
 次の定例会は2月です。詳細の日程については議会事務局へお問い合わせください。本会議の開会時刻は原則午後1時ですが、議会運営上変更となる場合があります。※団体で傍聴をご希望の場合は、事前に議会事務局へご連絡ください。

一般質問

議員21人が登壇

市政を問う!

第4回定例会の一般質問は、12月14日、15日、16日、17日、及び20日の5日間行われました。

今回は21人の議員が登壇し、市政全般にわたり市当局の見解をたしました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

また、一般質問の詳細については、『石巻市議会ホームページ』で録画映像にてご覧いただけます。



石巻市議会ホームページにて録画配信しています

一般質問通告一覧

(※議員名の前に付いている番号は質問順序です)

<p>①黒須光男 1. 原子力発電に関する交付金のあり方について 2. 監査委員の産業建設委員会での発言について</p>	<p>⑫千葉真良 1. 1・2・3の師走の嵐及び湊の高潮対策について 2. (仮称)市民文化ホール建設と石巻市民会館の今後について 3. いしのまき水辺の緑のプロムナード計画について 4. 新墓地建設設備計画について 5. 組織・機構改革について</p>
<p>②千田直人 1. 合併“一体感の醸成”達成度について 2. 環太平洋連携協定(TPP)農業等について 3. 教育行政の課題等について</p>	<p>⑬石森市雄 1. 行財政改革について 2. 過疎地域自立促進計画について</p>
<p>③阿部和芳 「元活」石巻!プロジェクト 1. 石巻～鮎川線本線及び枝線の道路整備について 2. 農林漁業:1次産業支援について 3. 石巻市行財政改革推進プランについて</p>	<p>⑭堀川禎則 1. ナラ枯れ被害防止 2. 石巻の名を全国発信</p>
<p>④水澤富士江 1. 市立図書館の充実について 2. 公営住宅の拡充について 3. 「食を活かした元気な石巻」都市宣言のもとでの学校給食の充実について</p>	<p>⑮櫻田誠子 1. 市民にひらかれた庁舎について (1)子育てサロン、市民サロンなどの利用状況について (2)光熱費の推移について (3)旧庁舎の跡地利用について 2. 観光について (1)観光客の入り込み数の推移について (2)萬画館等を活かした観光戦略について 3. うつ。自殺予防について (1)うつ。自殺予防の取りくみと課題について</p>
<p>⑤森山行輝 1. 市民球場について 2. 学校給食について</p>	<p>⑯阿部純孝 1. 石巻市行政改革プラン(案)について 2. 冠水対策について</p>
<p>⑥松川恵一 1. 認知症について 2. 産業振興について 3. 総合特区制度について 4. 湊地区の諸課題について</p>	<p>⑰高橋誠志 1. 陸上競技場整備の必要性について 2. 教育現場の課題について</p>
<p>⑦安倍太郎 1. 平成23年度予算編成方針と重点事業について 2. 歳入確保対策と雇用の確保について 3. TPP(環太平洋戦略経済協定)について 4. 行政委員の処遇改善について 5. 市政功労者表彰式について</p>	<p>⑱西條正昭 1. 学校・校庭の芝生化について 2. プールの利活用について 3. 三陸縦貫自動車河北インターまでのアクセス道について</p>
<p>⑧三浦一敏 1. TPPと農林、水産業について 2. 緊急時および今後の市営住宅について</p>	<p>⑲阿部正敏 1. ふるさと雇用再生特別基金事業について 2. 緊急雇用事業について 3. 急傾斜地対策事業について 4. 寄磯線側溝改良事業について 5. 公民館などの指定管理者移管について 6. 住宅リフォーム補助事業について 7. 離島におけるごみ収集について</p>
<p>⑨遠藤宏昭 1. 市職員の病気休暇状況について 2. 石巻工業港曾波神線の交通安全対策について</p>	
<p>⑩山口荘一郎 1. 教育について 2. 保育所ならびに放課後児童クラブの待機児童と財政改革推進プランについて</p>	<p>⑳庄司慈明 1. 北上川・石巻湊公開講座から学ぶもの -10年20年後の都市空間を考える- 2. 高すぎる国保税の軽減をパート3 -実効あるセーフティネット構築のために-</p>
<p>⑪渡辺拓朗 1. 高齢・格差社会と住宅問題について 2. 旧県営艇庫について</p>	<p>㉑後藤兼位 1. 行財政改革と市政運営について 2. 雨水・インフラ対策について 3. 中心市街地活性化基本計画の進捗状況について</p>

問 観光大使を選出しては

答 必要性と誘客効果を認識、検討する

問 本市の観光資源や豊富な食材を広くアピールするため、観光大使を選出する考えは。

答 観光大使の選出については、これまでも何度か議論され、一昨年に開催された「仙台・宮城デステイネーションキャンペーン」の際は、石巻観光協会が食生活ジャーナリスト 岸朝子さんを観光大使に委嘱した。

本市においても、芸術・文化部門や作家など、ゆかりのある多くの著名人がいるので、そのような方々に御活躍いただければPR効果は計り知れないものと考えている。その必要性と誘客効果については、十分認識しており、観光協会と協議を重ね、より良い方向性を見出したい。

問 「水辺の緑のプロムナード」施策について

答 来年度以降も積極的に展開したい

問 「北上川・石巻湊公開講座」「水辺の緑のプロムナード」の来年度以降の展開は。

答 来年度以降もプロムナードの実現に向けて積極的に展開したいと考えている。整備に向けたハード対策として

国・県の関係機関との弾力的な協議や勉強会の実施、沿川町内会との意見交換を、ソフト対策としては、今年から実施している北上川・石巻湊公開講座を継続するとともに、新たに水辺散策のルートマップや歴史案内サインの作成など、多くの市民に、水辺に関心を持ち気軽に参加できる機会を提供したい。



◀北上川・石巻湊公開講座の様子



◀石巻観光キャラクター「いしびよんず」

問 中心市街地活性化の進捗状況は

答 旧丸光ビル解体・整備、内海橋歩道橋拡幅



▲内海橋歩道橋拡幅開通式

問 中心市街地活性化基本計画認定後の進捗状況、成果は。

答 今年度は「川を活かしたまちづくり」としての旧丸光ビルの解体・整備も完了し、宮城県による内海橋の歩道部分の拡幅も終えた。

今後の事業としては、駅周辺の整備を始め、食彩通りの道路整備なども、都市再生整備計画にしたがって着手を待つばかりとなっている。

民間においては、中瀬エリアの開発が概ね完了し、高齢者向け優良賃貸住宅の整備も年度内の完成を目指して施工中であり、入居者の募集も開始されている。

また、経済産業省の支援が見込める民間事業「空き店舗を活用したまちなか賑わい交流拠点施設の整備」については、関係者とともに鋭意検討を進めており、年度内の事業計画の取りまとめを目指している。

議場コンサートを開催しました

第4回定例会の本会議初日にあたる12月3日、議場を開放して恒例となった議場コンサートを開催しました。

今回は、「あたたかなコンサート」と銘打ち、千葉栄俊とブルーフェニックスの皆さんによる演奏が披露されました。

「オブ・ラ・デイ・オブ・ラ・ダ」「黒沢楽隊のテーマ」「ラブイズオーヴァー」「テキーラ」の4曲が披露され、来場された多くの観客に、感動を与えていただきました。議会では、今後も議場コンサートを開催する予定ですので、市民の皆さんの御来場をお待ちしております。



市立高校の統合について

答 来年度に統合事業基本計画を策定

問 市立高校の統合について「市立高等学校の在り方」「施設」「学科」「学級数及び定員」「統合目標年度」「施設の改修」をそれぞれどのように検討をしてきたのか。

答 石巻市立女子商業高等学校と石巻市立女子高等学校を統合し、現市立女子高等学校の施設を活用しながら女子校として新設する。学科については、普通科系、家庭科系及び商業科系の3つのコースを基本とし、多様な進路希望や興味・関心に応じた科目選択ができるよう検討している。6クラス、240名を基本として検討しており、全体像や施設整備内容、統合年度を含めた事業全体のスケジュール等を「統合事業基本計画」として、来年度の出来るだけ早い時期に策定したい。



学校給食センターの老朽化対策は

答 施設統廃合も含め、早期の対応を目指す

問 現状施設である住吉、湊、渡波給食センターが老朽化し、その対策が求められているが、検討している内容は。

答 現在、共同調理場方式により6ヶ所の学校給食センターから、学校給食を提供しているが、このうち、旧市地区を対象とする住吉、湊、渡波学校給食センターの3施設と、牡鹿地区を対象とする牡鹿学校給食センターは、老朽化が進んでいるため、施設の更新が必要となっている。施設更新に併せ、これら施設の統廃合も検討しており、実施時期については、できるだけ早期の対応を目指す。



◀牡鹿給食センター

市立図書館の今後の展望は

答 中央公民館と図書館を核とする複合施設を

問 建物の老朽化・狭隘化、駐車場の狭隘化が進んでいるが今後の展望は。

答 昭和48年9月に建設し、昭和63年に全面増改築を行っているが、設備の老朽化とともに、資料の増加により施設が狭隘になっている。駐車場についてもスペースが狭いため、主催事業等で満車が予想される際には、隣接の駐車場を確保したり、職員が駐車整理をして対応している。

今後の展望として、現在、中央公民館と図書館を核とする複合施設（仮称）地域交流センターの基礎調査を実施しているところであり、その中で検討していきたい。



◀市立図書館

学校校庭の芝生化を

答 芝生化について調査研究したい

問 校庭の芝生化により、裸足で遊べる環境を整えることで、子供達の健全な成長を促し、また、学校周辺への砂ぼこりなどの環境も整備されると考えるが。

答 校庭の芝生化については、スポーツ活動における安全性、環境教育への教材としての活用、砂塵の飛散防止や夏季の照り返しの抑制など、様々な効果があると言われている。整備費や維持管理費、手入れ等の問題について、国や財団等の補助事業や他市での芝生化事例などについて、今後、調査研究していきたい。



問 市民文化ホール（仮称）建設に向けて

答 平成27年度中の開館を目指す

問 市民文化ホールの建設に向けたスケジュールは。

答 今年度に基本構想、来年度前半に基本計画を策定し、平成24年度から設計を開始する予定である。基本計画策定終了から完成まで4年半程度は必要と見込んでおり、合併特例債の期限である平成27年度中の完成を目指す。

場所の選定方法及び施設概要、機能検討の手法については、基本構想策定後、市民や専門家、文化芸術団体などの意見を聴き、事業費や利便性などを総合的に勘案し、検討したい。

問 過疎対策とその解消に向けて

答 様々な施策を積極的に進める

問 過疎対策や、その解消には就労の場の確保が最も有効であり、企業誘致、起業支援、あるいは観光振興も重要と考えるが。

答 若者の就労場所の確保は、地域経済活性化や地域活力を高めていく上で、重要な課題である。

本市は、水産物、農産物、豊かな自然、優れた景観など、多様な地域資源を有しており、インフラ整備と併せ、これらを生かした新たな産業や観光ビジネスが創出されれば、交流人口が増加し、地域活性化につながることを期待できる。商工等連携、企業誘致助成事業、観光イベントに対する補助事業など、様々な施策を今後も積極的に推し進め、過疎対策に取り組んでいきたい。

問 平成23年度予算における重点事業は

答 4つの重点施策に取り組む

問 歳入増が見込めない厳しい財政状況下での予算編成と思うが、平成23年度予算編成の基本方針と重点事業は。

答 来年度の予算編成の基本方針は、一般財源の確保と経常経費の節減に向けた歳入歳出の総点検を行い、歳入に見合った歳出予算の編成を目指すことを掲げた。

特に積極的に取り組む重点事業として、総合計画実施計画において掲げた「産業の振興・雇用対策の推進」、「少子化対策の推進」、「安心・安全なまちづくりの推進」、「地域自治システムの構築事業や太陽光発電普及促進事業」などの4つの重点施策に取り組んでいきたい。

問 一日も早い旧分庁舎、旧議会棟利活用を
答 にぎわいの再生を念頭に協議

問 旧分庁舎、旧議会等が空室のまま異様な光景である。一日も早い利活用また跡地利用を望むが。

答 新庁舎への移転後、旧本庁舎周辺は人の流れがなくなっており、旧庁舎の暫定的な活用を検討している。

しかしながら、旧議会等及び旧第4分庁舎については、速報値では耐震補強が必要な状態となっており、旧庁舎付近の賑わいの再生を念頭に、耐震補強の実施の有無、他の代替措置等を含め、関係団体と協議の上、判断していく。



◀旧議会棟

問 冠水対策を急ぐべき
答 解消に向けた取り組みを推進していく

問 温暖化の影響で、市内各所で浸水、冠水地域が拡大しているが、住民の生命と財産を守る上でも抜本的な対策を急ぐべきと思うが。

答 冠水対策は喫緊の課題として捉えている。

高潮被害が発生している渡波地区2箇所と釜地区1箇所への排水ポンプの設置、また、北上地区の大沢川周辺での冠水対策を総合計画で位置付けしているので、対策の効果を検証の上、他の地区の冠水対策も順次進めていく。国・県に対する要望をはじめとし、その解消に向けた取り組みを推進していく。



◀12.03の大雨による冠水の様子

問 高齢単身者等増加、市営住宅の供給整備を

答 長寿命化計画に基づき整備手法を検討

問 高齢単身者や低所得者は増加の一途をたどり、市営住宅の供給は生活保護者の増加の歯止めにもつながら、弱者救済のセーフティネットでもある。この課題に対する認識は。

答 全国的に厳しい経済状況が続き、低所得者の割合は増加し、市営住宅の整備は、必要不可欠の事業であると認識している。これまで維持保全事業を計画的に実施してきたが、建替え事業等については、平成25年度から平成29年度に位置付けしており、今後の石巻市総合計画実施計画のローリングの中で検討する。

また、昨年3月に国から「公営住宅等長寿命化計画策定指針」が示され、新たに「石巻市公営住宅等長寿命化計画」として策定作業を行っており、整備手法等を含め検討していきたい。



問 TPP参加の影響は

答 農林水産業で169億円減少か

問 仮にTPPに参加した場合、石巻市の農業、水産漁業、林業に与える影響は、それぞれの程度と算定しているのか。また関連する地域経済への打撃もはかり知れないと思うが見解は。

答 TPPに参加した場合の農林水産省の試算は、それ自体の評価が難しい参考レベルの試算と捉えているが、この前提条件に基づき、本市の農林水産業の産出額に対する影響額を試算したところ、概算ではあるが、農業ではおよそ55%の85億円、水産業では33%の84億円がそれぞれ減少となり、農業と水産業併せて41%の169億円が減少する結果となっている。

本市としては、基幹産業である農林水産業の振興施策を着実に実施していくとともに、これからの国における議論を注意深く見守っていきたい。

※TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）とは

平成27年までに協定国間の貿易において、工業品、農産品、金融サービスなどをはじめとした全品目の関税を原則として完全撤廃することにより、多国間での貿易自由化の実現を目指すもの。

問 陸上競技場の整備を

答 平成28年度着工となっているが、協議する

問 県下二番目の都市としては、是非とも公認のグラウンドが欲しい。合併10周年記念事業として位置づけし整備しては。

答 陸上競技場建設予定地を含む石巻市総合運動公園は、総合スポーツ施設として平成6年に基本計画が策定された。その後、平常時にはスポーツ公園、災害時には広域防災拠点として活用できる防災公園として整備する新しい基本計画を平成20年度に策定し、平成27年度までに整備することとしている。

陸上競技場整備については、現在の予定では合併11年目となる平成28年度の着工、平成32年度の完成となっている。合併10周年記念事業に位置付けが可能かどうか、今後庁内で協議していきたい。

問 石巻〜鮎川本線及び枝線の整備は

答 風越2工区を整備、枝線についても検討

問 現在、本線の舗装工事が行われているが、第1工区のトンネル建設後、遅々としてインフラ整備が進んでいない。女川原発やプルサーマル導入等、ハイリスクであるが、現状をどのように認識・捉えているのか。

答 改良工事の必要な区間の風越2工区については、延長約1.2kmの区間を幅員11mとして、平成19年度から10年間の完成を目指している。女川原発の避難道路として重要な路線であり、プルサーマル交付金等の活用を含め、整備を進めていく。また、枝線については、本線工事の進捗に併せ宮城県と協議をしながら、早期の事業化に向けて検討していく。



◀風越トンネル



◀総合運動公園未整備地

問 アメリカシロヒトリの農作物等への被害は

答 桃生地区において大豆で一部被害確認

問 害虫アメリカシロヒトリが今夏大量に発生した。確認情報によると「旧北上川周辺が特に異常発生」し、柳の木や胡桃の木など樹木の葉が食害と聞く。農作物などの被害状況は。

答 本年の少雨、高温であった異常気象が大量発生の原因ではないかと言われており、本市においては、河川敷や公園などの樹木に大量発生していることを確認した。

農作物への被害は、桃生地区において大豆への一部被害が確認された。他地区については確認されていないが、今後、実態調査したい。

問 住宅リフォーム補助事業の拡大を

答 継続実施に向け制度内容を検討する

問 住宅リフォーム補助事業の予算枠の拡大と申請業務の簡素化を。

答 今年度の申込件数は合計で 329 件となった。緊急経済対策の一環として実施した本事業は、補助金額 4 千万円に対し 5 億 5 千万円を上回る仕事量があり、13 倍を越す経済効果となっている。

本市の厳しい財政状況の中で地域の活性化を図るためには、効果的な事業を厳選して実施することが肝要であることから、継続実施を検討している。切れ目のない事業実施にはどの程度の事業規模が必要かなど、申請業務の簡素化を含め制度内容の検討を行っていく。

問 原子力発電に関する交付金のあり方は

答 本市と県、女川町の三者で協議する

問 原子力発電に関する、プルサーマル実施等に伴う交付金の配分割合の考え方は。

答 原子力発電施設等立地地域特別交付金は、原子力発電所でのウラン・プルトニウム混合酸化物燃料、いわゆる「MOX 燃料」の使用に同意した県に対し、交付される。

宮城県では、関係市町村と調整し作成する地域振興計画に基づき、総額 30 億円を限度に交付される。

正式な使用開始年度や交付時期も未定であることから、宮城県、本市及び女川町の交付金の割合については、今後三者で協議していきたい。

問 石巻工業港曾波神線の交通安全対策は

答 横断歩道、信号機設置など交通安全対策を講ずる

問 交通量の増加が見込まれることに対する交通安全対策は。

答

石巻工業港曾波神線は、平成 24 年度末の片側 2 車線での供用開始を目指し、鋭意事業を進めている。

本路線の供用開始により、蛇田地区との連絡や三陸縦貫自動車道へのアクセス性の向上など、市街地での円滑な自動車交通の確保が期待されるが、交通の流れの変化により、交通量が増加する箇所が生じると予測される。

このことから、関係機関との協議により、横断歩道、信号機の必要箇所への設置や各種交通安全施設の設置を図るなど、交通安全対策を講じていく。



◀ 道路改良工事の進む石巻工業港曾波神線

問 ナラ枯れ防止にむけた対応は

答 関係機関と連携し、被害防止に取り組む

問 県内でもナラ枯れ被害が出て来ているが、被害防止にむけた事前対応も必要と考えるが、その対応策は。

答 今年度、県内でも 4 市 5 町の民有林で 463 本の被害が確認されるなど、被害地域及び被害量が拡大しており、本市においても、予断を許さない状況であると認識をしている。

今後、被害の発生状況等について情報収集等を行うとともに、ナラ枯れの原因となる、カシノナガキクイムシの駆除に関する講習会に参加するなど、被害を未然に防ぐよう、努めていきたい。また、ナラ枯れ被害の多くが、50 年以上の高齢木に発生しているとの研究報告もあることから、森林所有者に対し、里山の手入れを促すなど、関係機関と連携しながら、被害防止に取り組んでいきたい。

※ナラ枯れ

カシノナガキクイムシ（カシナガ）が媒介するナラ菌により、木を枯らす伝染病の一種でミズナラ等が集団的に枯損する。

意見書

第4回定例会において次の意見書が産業建設委員会で審査および本会議採決で採択され、関係機関へ提出することに決まりました。

TPP交渉参加阻止に関する意見書

政府は、平成22年11月9日に「包括的経済連携に関する基本方針（EPA基本方針）」を閣議決定し、米国、豪州など9カ国が行う環太平洋連携協定（TPP）交渉への参加を進めようとしている。

TPPは、完全な貿易自由化を目指した協定であり、交渉を進めようとする政府の動きに対し、生産現場では極めて大きな不安と動揺とともに怒りが生じている。

本来EPAは、交渉相手国の相互発展と繁栄を本来的な目的とすべきであり、農業を含む各産業分野が、完全に公平な利益を享受できる場合にのみ、検討を行うべきである。

しかし、わが国がTPP交渉に参加しても、この目的の達成は不可能であり、農業への影響を考慮せず結果として農業生産をこれ以上縮小させれば、食料の安定供給や安全・安心の確保は困難となり、国益を損ねることは必至である。

つきましては、農業者の将来にわたる営農の安定や地域経済化、そして、国民に対する食料の安全保障の観点から左記事項を早急に実施するよう強く要望する。

記

日本の「食」と「農」、そして「地域経済」を守るため、農業を犠牲にするTPP交渉参加には断固反対する。

議員政策研究会

平成22年12月20日に、議会基本条例に基づき設置した議員政策研究会の初となる全体会が開催された。

宮城県がデータセンター誘致の立地推進の総合特区を国に申請したことを踏まえ、「IT産業のデータセンター誘致」を研究テーマ化した。

県の試算では、データセンターは3年間で1千億円強の生産性、市町村に入る固定資産税は3年で14億円、50～60人程度の雇用の創出が予想される。センターの維持経費は電気料金が大半を占めるため、電源立地交付金の有利な補助制度がある石巻市は有力な候補地となり得る。

今後、第1分科会（総務企画委員会）が所管となり、政策立案・提言に向けて、具体的な研究を重ねていく。



※データセンターとは

企業等が有する大量の電子情報を処理し保存する施設。

経済産業省は日本に大規模なデータセンター誘致をする方針を決めた。地盤が固く大量の電気を供給しやすい原発立地の自治体への誘致を視野に入れている。

「IT産業のデータセンター誘致」を研究テーマに

ご意見拜聴

「市民の聲」

議会運営について皆様の
ご意見をお聞かせください。

石巻市議会では、市民福祉の向上を目指し、開かれた議会運営に努めており、開かれた議会を推進し、市民の負託に応えるため「市民の聲」を実施しています。提案や意見は、議会棟入口と議場傍聴席に設置している提案箱への投函、郵送、電話、ファクシミリ、電子メール等により随時受け付けています。

《石巻市議会事務局》

〒986-8501
石巻市穀町14番1号
TEL (95) 1111 (代表)
FAX (96) 2274
メール
assesc@city.ishinomaki.lg.jp

環境教育委員会

【実施日】平成22年10月19日～22日

【視察地及び視察項目】

- 愛知県刈谷市…公の文化施設について
- 兵庫県尼崎市…学校エコ改修と環境教育について
- 岡山県倉敷市…グリーンくらしきエコアクションについて

【視察概要】

刈谷市では、刈谷市総合文化センターを視察。大ホール(1,541席)、小ホール(282席)、リハーサル室(2室)等、充実した施設を完備、様々な方面の意見を取り入れたユニバーサルデザインなど芸術文化活動の拠点、舞台芸術の鑑賞の場として誰もが利用しやすい施設となっていた。

尼崎市では、環境に配慮した校舎建設とそれを生徒への環境教育の素材として活用している市立成良中学校の取組みについて視察した。

倉敷市では、電気自動車の普及促進や住宅用LED照明への取替え補助など環境先端都市を目指した地球温暖化対策への取組みについて視察した。

総務企画委員会

【実施日】平成22年10月19日～22日

【視察地及び視察項目】

- 大阪府池田市…行政改革について
地域分権制度について
- 兵庫県朝来市…地域自治システムについて
- 京都府南丹市…入札、契約制度について

【視察概要】

池田市では、財政再建団体に転落する危険な状況から脱却すべく、行財政の抜本的な見直しを行い、転落を回避した手法や現在においても止まることなく改革を継続しているその姿勢及び過程について研修し、その手法の一つである「自分たちのまちは自分たちでつくる」ことを念頭にした地域分権制度についても研修した。

朝来市は、地域コミュニティの希薄化や人口減少等により、既存集落の存続維持に様々な弊害が発生している状況にどう対処していくかが喫緊の課題として継続している中、他の地域(自治体)よりも早く地域自治システムを開始し、経験を積んでいた。

南丹市は、電子入札制度を採用しており、電子入札等を実行する場合のやり方や、入札・契約業務の実際の状況現状等について研修した。

常任委員会行政視察レポート

各常任委員会が行なった行政視察について掲載いたします。

産業建設委員会

【実施日】平成22年10月18日～21日

【視察地及び視察項目】

- 島根県浜田市…水産業振興施策について
- 広島県広島市…水の都ひろしまづくりの推進について
- 兵庫県伊丹市…防災機能を有した公園整備について

【視察概要】

浜田市では、水産物のブランド化戦略に特に力を入れており、大消費地広島市内でのラッピングバスの運行など積極的なPR策が目を見張った。観光客の誘客にも効果を生んでいた。

広島市では、河川空間の利活用を進め、市民が憩い、魅力とにぎわいのある都市空間が存在し、生活や心を豊かにしていこうという思いが感じられた。構想の策定に当たっては市民の声を大事にし、協働して作り上げていた。

伊丹市では、住宅地の中に地域の人々が日ごろは安らぎの場として、有事の際には地域の避難所として活用できる防災公園であった。本市においては、より大規模な防災公園整備計画が進められているが、市民が親しむとともに、防災拠点機能を持った公園整備が望まれる。

保健福祉委員会

【実施日】平成22年10月19日～22日

【視察地及び視察項目】

- 兵庫県養父市…公立八鹿病院の健全経営について
- 京都府京田辺市…福祉センターと児童館の複合施設について
- 滋賀県大津市…介護サービス「質の向上」について

【視察概要】

公立八鹿病院は、64年の実績を持つ老舗病院である。昭和44年にそれまでの伝染病病院組合を解散し、経営を「公立八鹿病院組合」として移管し、「病院はサービス業」と捉え、患者を受け入れるだけでなく「攻めの経営」という理念で運営していた。

京田辺市では、老人福祉センター・児童館の施設目的を複合し、世代を超えた交流が行われる人作りの拠点施設を見学した。人口減少、少子高齢化など様々な問題を抱えており、総合的な視点や発想の転換の必要性を感じた。

大津市では居宅が57.4%と施設サービスを上回っており、これは地域に支えられたサービス展開ができていた。本市においても在宅介護事業への転換等の検討の必要性を感じた。

特別委員会行政視察レポート

各特別委員会が行なった行政視察について掲載いたします。

総合防災対策特別委員会【実施日】平成22年11月9日～11日

【視察地及び視察項目】

- 佐賀県東松浦郡玄海町
 - ・地震、津波、異常気象に係る防災対策について
 - ・プルサーマルについて
- 福岡県古賀市
 - ・地震、津波等への対策について

【視察概要】

玄海町は、福岡西方沖地震（107年ぶりの大地震）を受け、地域防災計画を定め関係施設の耐震化の促進等、耐震性の向上に向け様々な対策を講じていた。

また、プルサーマル計画についての経緯経過や今後の課題について研修及び意見交換をした。

さらに、九州電力玄海原子力発電所施設の見学を実施し説明を受けた。

古賀市では、阪神淡路大地震を受けて防災計画を作成していた。同市は全般的に災害が少ない地域で、福岡西方沖地震でも周辺自治体に比べ被害は少なかったとのことで、経験が少なかった分、何とかしなければという防災計画、体制への思いが感じられるものであった。



▲玄海町での視察の様子



▲九州電力玄海原子力発電所見学

地域医療対策特別委員会【実施日】平成22年11月8日～10日

【視察地及び視察項目】

- 長崎県長崎市
 - ・地域医療連携について
 - ・離島医療について
- 佐賀県唐津市
 - ・地域医療センターエリア構想の推進について

【視察概要】

長崎市は、在宅ケアの先進都市で、全国の地域医療連携のモデルとなっており、病診連携や診診連携、他業種連携による地域医療連携ネットワークが構築され、また離島診療所への安定的な医師確保、ドクターヘリや救急搬送の配備などの離島医療の充実に努めていた。

唐津市は、中核病院を中心とした定住自立圏における地域医療体制の充実を図っており、また光ファイバー網を活用し、検診データの閲覧など離島の診療体制を補完する環境づくりが進められていた。

本市の地域医療や離島医療の環境整備を検討する上で参考となる施策であった。



▲長崎市での視察の様子



▲唐津市での視察の様子

雇用と定住促進対策特別委員会【実施日】平成22年11月8日～10日

【視察地及び視察項目】

- 熊本県熊本市
 - ・企業誘致への取り組みについて
 - ・中心市街地活性化基本計画について
- 福岡県大牟田市
 - ・地域産業活性化への取り組みについて
 - ・地場産業の創出について

【視察概要】

熊本市では、優遇制度を設けて中心市街地への企業立地誘導に努めるとともに、市街地を4つの地区に区分して、それぞれ特色ある活性化事業を推進しており、政令指定都市への移行と九州新幹線の開通に合わせるように、着々と準備を進めている。

本市においてもマンガや食のまちとして、特色のあるまちづくりを進めているが、官民一体となった熱意が基本計画の成功の是非を握っており、連携をより進めていく必要性を感じた。

大牟田市では、平成9年の炭鉱閉鎖により地域経済に大きな影響が出ているが、産業活性化推進協議会や医工連携協議会などが中心となり産学官の連携を強め、新たな活性化への道を模索している。

本市でも、産学官連携をより強固なものとし、地元企業への支援を図っていくべきと感じた。



▲大牟田市での視察の様子

重要課題の早期解決に向けて ～中央要望～

平成22年11月11日と12日、議長、副議長、4常任委員会の委員長及び市長等が上京し、市における重要課題の早期解決に向けて、次の事項の要望を行いました。



▲市の重要課題が盛り込まれた要望書

総務企画委員会

- ▼真の地域主権改革を目指した一括交付金化に関する要望
- ▼地上デジタル放送移行に伴う新たな難視対策に関する要望

《要望先 内閣府、総務省》

環境教育委員会

- ▼航空自衛隊松島基地所属の航空機騒音に対する生活環境の確保に関する要望

《要望先 防衛省》

保健福祉委員会

- ▼地域医療を担う自治体病院の医師及び看護師の確保を求める要望
- ▼子宮頸がん予防ワクチン接種費用の全額助成並びに女性特有のがん検診の国庫補助の継続を求める要望

《要望先 厚生労働省》

産業建設委員会

- ▼農業・農村基盤整備事業の充実強化についての要望
- ▼石巻港の仙台塩釜港との一体化に関する要望

《要望先 農林水産省、国土交通省》



▲中央要望の様子

議会トピック

平成22年11月16日（火）に宮城県市議会議長会主催の議員研修会が岩沼市グリーンピア岩沼を会場に開催され、歴史家で作家の加来耕三氏を講師に『歴史に学ぶリーダーの条件』と題して講演が行われました。本市議会からも多数の議員が参加いたしました。

また、平成22年11月24日（水）に女川町議会産業建設委員会と石巻市議会産業建設委員会の意見交換会が開催されました。当日は①牡鹿半島二ホンジカ対策の推進について、②市町間を結ぶ道路の整備促進について、活発な意見交換が行われました。



▶女川町との意見交換会の様子

初の常任委員会行政視察報告会を開催

行政視察報告会を開催

平成22年12月8日から9日の日程で、各常任委員会の行政視察報告会を開催しました。本年10月に実施した各常任委員会の視察結果について委員より報告した後、当局との質疑応答や意見交換を行いました。



石巻市議会豆知識

Q 常任委員会って何？

A 市がしている仕事はたくさんあるので、何人かの議員でグループをつくり、種類ごとに話し合います。このグループを委員会といいます。

石巻市には、総務企画委員会、環境教育委員会、保健福祉委員会、産業建設委員会の4つの常任委員会があります。



議会の動き

11月

- 11日 中央要望（～12日 東京都）
- 15日 地域医療対策特別委員会（現地視察）
会派代表者会議
- 16日 宮城県市議会議長会議員研修会（岩沼市）
行政視察来局（山形県酒田市議会）
- 17日 行政視察来局（栃木県栃木市議会）
- 18日 行政視察来局（白石市議会）
- 22日 議会運営委員会
市議会第5回臨時会
全員協議会
常任委員会正副委員長会議
- 24日 女川町議会産業建設委員会と
石巻市議会産業建設委員会の意見交換会
- 30日 議会運営委員会

12月

- 1日 総合防災対策特別委員会
雇用と定住促進対策特別委員会
地域医療対策特別委員会
- 3日 議場コンサート
市議会第4回定例会開会（～20日まで）
本会議（提案理由説明）
全員協議会
総務企画委員会、環境教育委員会
保健福祉委員会、産業建設委員会
- 6日 会派代表者会議
議員定数等調査検討特別委員会
本会議（条例案、予算案等審議）
議員政策研究会幹事会
- 8日 総務企画委員会及び行政視察報告会
環境教育委員会及び行政視察報告会

- 9日 保健福祉委員会及び行政視察報告会
産業建設委員会及び行政視察報告会
- 10日 議会運営委員会、広報広聴委員会
会派代表者会議
- 13日 議員定数等調査検討特別委員会
雇用と定住促進対策特別委員会
- 14日 本会議（一般質問）
- 15日 本会議（一般質問）
- 16日 本会議（一般質問）
- 17日 本会議（一般質問）
議員政策研究会幹事会
- 20日 議会運営委員会、議員政策研究会全体会
本会議（一般質問、委員長報告、追加議案審議）閉会

1月

- 5日 会派代表者会議
- 7日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 13日 行政視察来局（茨城県取手市議会）
- 17日 行政視察来局（茨城県水戸市議会）
- 19日 行政視察来局（岩手県北上市議会）
- 24日 雇用と定住促進対策特別委員会
- 25日 議会運営委員会
地域医療対策特別委員会
行政視察来局（三重県名張市議会）
総合防災対策特別委員会
雇用と定住促進対策特別委員会
- 27日 市議会第1回臨時会
議員定数等調査検討特別委員会
行政視察来局（広島県三原市議会）

2月

- 3日 産業建設委員会

市議会 ホームページ

ぜひ
ご覧ください!!

<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/gikai/gikai.jsp>
へアクセスしてください。

石巻市議会

検索

市議会ではホームページを開設しています。
議会に関する様々な情報を掲載しています。
議会の日程や「いしのまき市議会だより」で
取り上げた内容等についても詳しくご覧いた
だくことができます。

定例会や各委員会の会議録も検索できます。

NEW

本会議における一般質問等を録画中継で
ご覧いただけるようになりました。



DATA 市総人口：163,053人【男：78,655人 / 女：84,398人 / 世帯数：60,890世帯（平成23年1月1日現在）】

発行／石巻市議会 編集／石巻市議会事務局 〒986-8501 宮城県石巻市穀町14番1号 ☎0225-95-1111 印刷／七星社